

**【NEWS RELEASE】**

2020年6月30日

各 位

株式会社三井住友銀行

中央総業株式会社に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、中央総業株式会社（代表取締役社長：原 健一）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（ ）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、中央総業株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

## アンカー工事業を通じた建設現場の省力化、人材育成への貢献

|                         |   |
|-------------------------|---|
| 目標 4<br>質の高い教育を<br>みんなに | ターゲット 4.4 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。 |
| 目標 8<br>働きがいも<br>経済成長も  | ターゲット 8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。 |

## 耐震補強工事業を通じた、持続可能なまちづくりへの貢献

|                            |  |
|----------------------------|--|
| 目標 11<br>住み続けられる<br>まちづくりを | ターゲット 11.3 2030年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、全ての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。 |
| 目標 12<br>つくる責任<br>つかう責任    | ターゲット 12.2 2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。                                |

三井住友銀行では、「SDGs推進融資」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。



アンカー工事業を通じ  
SDGs 目標達成に向けた貢献



耐震補強工事業を通じて  
安心できる社会の実現に貢献



業界トップのオピニオンリーダー  
として経済生産性を向上

<ご参考>

SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。